平成２８年１０月２１日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（２０１６年） 　　 **和歌山市立砂山小学校　保護者様**

和歌山市立砂山小学校

校　長　 鎌 田 卓 子

　　　　　　　　**平成２８年度全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）**

**結果の概要と具体的な取組について**

秋風のさわやかな季節になってまいりました。保護者の皆様にはますますご清祥のことと喜び申し上げます。平素は本校教育発展のために格別のご協力・ご支援を賜りありがとうございます。

さて、本年も４月に６年生の全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）が実施されました。

本校の今年度の全国学力テストの結果の概要とそこからみえる課題や取組についてお知らせします。

**平成２８年度全国学テ・学習状況調査結果の概要**

　調査内容　　実施日：平成２８年４月１９日（火）　実施対象：６年生５４人

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則として　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　国語・算数の２教科について、「知識」と「活用」の２種類の問題が出題されます。

**国語Ａ・算数Ａ**・・・**「知識」**に関する問題を主としています。

**国語Ｂ・算数Ｂ**・・・**「活用」**に関する問題を主としています。

国語の４領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

算数の４領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

　　各教科とも４領域に分かれています。

**教科調査の結果分析**

≪国語科の調査結果にみえる本校児童の傾向≫

○国語Ａ・Ｂ問題ともに、「話す・聞く」「書く」「読む」領域において、良い傾向にある。

△国語の特性に関する事項（漢字・ローマ字の書きの確実性）の課題がみられる。（ＥＸ「相談→想談」「あさって→ａｓａｔｔｔｅ，ａｓａｔｕｔｅ」と書き間違いがあったり、無回答であったりしている。）（課題１）

≪算数科の調査結果に見える本校児童の傾向≫

○どの領域をみても、どの観点（知識理解、考え方、技能）をみても全国的にみても遜色はない。中でも、算数Ａ・Ｂ問題に正答率１００％の回答もあり良い傾向がみられる。

△算数Ａ問題で基準量と比較量の関係を正しく捉えることに課題がみられる。（課題２）

△図形の構成要素に着目して、論理的に考察することに課題がみられる。

（課題３）

**質問紙の結果分析より**

全国学力・学習状況調査では、国語・算数・理科の学力調査の他、児童質問紙調査があります。この児童質問紙調査では、児童の学校や家庭における学習状況や生活の様子、意欲や意識面を知る手掛かりとなります。

〇家で学校の宿題をしていますか。（昨年度も今年度も**し**

**ている・どちらかといえばしている。**と答えた児童は

**１００％**）

　　〇家の人と学校での出来事について話をしますか。（**して**

**両方で　　１００％**

**いる・どちらかといえばしている。**と答えた児童は

**８４％**）

　〇学校で、友達に会うのは楽しいですか。（**楽しい・ど**

**ちらかといえば楽しい。**と答えた児童は**１００％**）

〇５年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話

し合う活動をよく行っていたと思いますか。（**当てはま**

**る・どちらかといえば当てはまる。**と答えた児童は**９０．８％**）

　　〇学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。（**当てはまる・どちらかといえば当てはまる。**と答えた児童は**９２．６％**）　　　他にも全国よりよいところがある。

△「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」「　毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」

「朝食を毎日食べていますか。」が昨年度も今年度も全国平均より低い傾向にあります。

△「家で自分で計画を立てて勉強していますか」（課題４）も全国平均・県平均より低い傾向にあります。

△「普段１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか。」は２時間以

上が**６６．７％**あり全国平均・県平均より高い傾向にあります。

△「普段１日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」も２時間以上と答えた児童が**５５．５％**いました。これは、全国平均・県市平均より高い傾向にあります。他にも全国より気になるところがある。

家庭学習についてご協力をいただきありありがとうございます。学校での出来事について聞く時間も

とっていたあきありがとうございます。これからも、子どもたちが自分から学校での楽しかったこと、

発見したことなどを話したいと思うような取組をしていきたいと考えています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**早寝・早起きの良いリズム**が昼間に活発な「からだ」「あたま」「こころ」の働きが促されるように　　　　　　　　　　　なります。**朝ご飯を食べる**ことは、午前中からしっかり活動できる状態を作ります。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　子どもたちが**「早寝・早起き・朝ご飯」**で１日リズムよく過ごせるようにご協力お願いします。

夏休み・冬休みのアウトメディアへのご協力ありがとうございます。普段の１日当たりのＴＶゲーム（携帯・スマホゲーム）をする時間・テレビを見る時間についても子どもの**「心」「言葉」「コミュニケーション」の力**を**より育てる**ために一層のご協力をお願いします。

**調査結果を受けて、本校が具体的に取り組んでいくこと**

（課題１）解決に向けて

　授業での扱いに加え、練成タイムでも漢字練習の時間を増やして定着を図る。ローマ字の学習後、練成タイムで復習をしたり、パソコン入力でローマ字を使ったりする機会を増やしローマ字を身近なものにする。

（課題２）解決に向けて

　様々な問題場面を適切に読み取り基準量と比較量の関係を捉えることができるようにする

　数量関係を正しく捉えられるように練成タイム等で機会を取り入れていきたい。文章から基準量が何かを考えさせ図に表せるように指導していく。

（課題３）解決に向けて

　与えられた式の意味を図形の構成要素と関連付けて説明ができるかどうかの問題である。既習事項の何をどのようにつかえばよいかを考え解決しなければならない。今までにも既習事項を使って解決する学習をしてきているが、更に積み重ねていけるように指導する。算数で使う道具（三角定規・コンパス・分度器など）の特徴を定着させるために、使う機会を増やし意識付けできるようにする。

（課題４）解決に向けて

「家庭学習の手引き」を配布しているので、宿題以外での家庭学習の重要性については、それぞれの家庭で理解していただいている。子どもの自主性を促して計画表を作成させる等の支援をし、学校と家庭の連携を強化していきたい